お湯の魅力でお客さま満足度アップ

この特集は「観光経済ドットコム」でもご覧いただけます

全国の「風呂じまんの宿」28軒を紹介

山梨県・富士河口湖温泉郷

風のテラスKUKUNA

客室の露天風呂から富士

全65室から富士山と河口湖を望むスパリゾート「風のテラスKUKUNA」（宮下明壽社長）。温泉露天風呂、寝湯、足湯で構成されるウォータープライベートスパ「ウォーターテラス」付きの客室はワンランク上の特別室で、2017年にリニューアルされた展望館「天空のテラス」に14室ある。湯につかりながら富士山と河口湖のパノラマを独り占めできる。

グランドスパ「大空の湯」は、「星」と「月」に分かれ、男女入れ替え制で利用できる。天空に浮かび、湯面の延長に湖面が広がるような感覚になる設計を採用した「インフィニティ露天風呂」が両方にある。展望大浴場を備えているほか、「星」には立ち湯、「月」には半身浴の湯船があり、KUKUNAは、山梨県が事業者の感染症予防対策を実地調査する「やまなしグリーン・ゾーン認証」を受けている。

▽山梨県南都留郡富士河口湖町浅川70。☎0555（83）3333。https://kukuna.jp/

「大空の湯・月」のインフィニティ露天風呂

岐阜県・下呂温泉

水明館

三つの館で美人の湯堪能

日本三名泉の一つ、下呂温泉。飛騨川沿いの温泉リゾート旅館、水明館（瀧康洋社長）には、臨川閣、山水閣、飛泉閣の各館に大浴場がある。宿泊者は全大浴場を利用可能。なめらかな湯ざわりの美人の湯が評判だ。

臨川閣の「下留の湯」では、日本庭園が望める檜（ひのき）風呂を用意。天井、壁、柱にも檜が配され、木の香りが漂う。サウナルームも完備する。

山水閣には、樹木の緑と巨岩に囲まれた野天風呂がある。「龍神の湯」（男性用）、「観音の湯」（女性用）から飛騨の星空を楽しみたい。内湯も備える。

飛泉閣9階の「展望大浴場」は、一面ガラス張りの窓から温泉街や飛騨の山々が一望できる。

臨川閣には貸し切り風呂と岩盤浴もある。岩盤浴では麦飯石、溶岩石など天然鉱石が使われ、癒意。天井、壁、やしを体感したい。

全大浴場や朝食会場の混雑状況は、客室内のテレビや館内各所のモニターで確認できるなど、感染症対策にも万全を期す。

▽岐阜県下呂市幸田1268。☎0576（25）2800。https://www.suimeikan.co.jp/

下留の湯

静岡県・稲取温泉

稲取銀水荘

自家源泉で豊富な湯

稲取銀水荘（加藤晃太社長）は、敷地内の自家源泉から豊富な湯が湧出している。無色透明な弱アルカリ性のナトリウム・カルシウム―塩化物泉で、保温性が高く、入浴後も体がぽかぽかすると評判だ。

豊富な湯が注がれる大浴場は開放的で、サウナも設置されている。大浴場に隣接したオーシャンビューの展望露天風呂は、相模湾、伊豆半島の海岸線を望む絶景が魅力。朝、夕、夜と時間帯により雰囲気が変わる。

プライベートな時間を満喫するには、9、10階のエグゼクティブフロア「銀の栞」。8室全てに相模湾を見下ろす展望露天風呂を完備している。2018年1月にリニューアル・オープンした6階のスイートルーム7室も展望露天風呂付きの客室だ。

創業60年を迎えた稲取銀水荘は自家源泉の湯をはじめ、自慢の料理、稲取の自然や文化を生かしたおもてなしを深化させている。

▽静岡県賀茂郡東伊豆町稲取1624の1。☎0557（95）2211。https://www.inatori-ginsuiso.jp/

オーシャンビューの展望露天風呂

静岡県・堂ケ島温泉

堂ケ島ニュー銀水

絶景広がる露天風呂

海抜59㍍の高台から青い海とリアス式の海岸線を見渡す全客室オーシャンフロントの堂ケ島ニュー銀水（加藤晃太社長）。

あふれ出る豊富な温泉を大海原とひと続きかのような露天風呂や大浴場で満喫できる。

展望露天風呂は、堂ケ島の入り組んだ地形と大小の島々が織りなす絶景、どこまでも続く水平線を見渡しながら入浴できる。露天風呂に隣接した開放的な展望大浴場は、ガラス越しに堂ケ島の絶景が一面に広がる。時間帯とともに変わりゆく光の色彩も美しい。大浴場にはサウナが併設されている。

温泉のほか、板前が腕をふるった料理の数々が人々を魅了。西伊豆は海、山の食材の宝庫。季節、宿泊プランに応じた献立は多彩で、金目鯛をさまざまな料理で味わえる「金目ざんまい会席」をはじめ、「富士のめぐみ『あしたか牛』特選会席」「伊勢海老と鮑の贅沢会席」などがある。

▽静岡県賀茂郡西伊豆町仁科2977の1。☎0558（52）2211。https://www.dougashima-newginsui.jp/

堂ケ島の絶景を望む露天風呂

山梨県・信玄の湯 湯村温泉

常磐ホテル

四季の景色が美しい

開湯1200年、「武田信玄の元湯」として知られる山梨県・湯村温泉は、信玄生誕500年の節目を迎える今年、温泉名を「信玄の湯 湯村温泉」に改めた。この地で創業90周年の歴史を誇る常磐ホテル（笹本健次社長）は、皇族や文豪、各界の賓客が逗留（とうりゅう）するなど「甲府の迎賓館」と称される格式を備えている。

温泉大浴場は男女それぞれに魅力的。男性大浴場は、黒い御影石、開放的な窓、広い湯船、壁や天井には木材を使用し、重厚な雰囲気を醸し出している。併設の露天風呂は庭園の中にあり、四季折々の景色を眺めながらくつろげる。

女性大浴場は、男性大浴場とは対照的な赤い御影石の縁で囲まれた大きな浴槽を持つ。大きな窓からは光が豊かに降り注ぐ。露天風呂には、木の香り豊かな檜（ひのき）が使われている。

温泉の泉質はアルカリ性で、肌がすべすべになり、湯冷めしにくいと評判だ。

▽山梨県甲府市湯村2の5の21。☎055（254）3111。https://www.tokiwa-hotel.co.jp/

開放感のある男性用岩風呂

長野県・美ケ原温泉

翔峰

「りんご風呂」も開始

信州松本 美ヶ原温泉 翔峰（深澤洋充社長）は、奈良時代から親しまれた歴史ある温泉地にある。国が認定する国民保養温泉地にも選ばれており、その泉質は肌に優しく湯冷めしにくいのが特徴。

展望露天風呂「美しの湯」は、名湯につかりながらアルプスの山々や松本の城下町が眺められるぜいたくな空間。超微細な気泡が体を包むシルクバスも備えた展望内湯も。四季の移ろいを感じる庭園に面した露天風呂、開放感あふれる露天ジャグジーを併設した県下最大級の大浴場も堪能したい。

館内には、石張り、和風、庭園とタイプの異なる三つの貸し切り風呂もある。うち2カ所では11月1日から来年1月15日まで、信州産のリンゴを浮かべた「りんご風呂」の特別企画が行われる。旬の果実の彩り、華やかな香りが楽しめる。

客室は全95室で、温泉展望風呂リビング付きの客室もある。施設は3密を避け、ゆったりとした席の配置、消毒液の適宜設置など、感染症対策も徹底している。

▽長野県松本市大字里山辺527。☎0263（38）7755。http://www.hotel-shoho.jp/

絶景と華やかな香りを楽しめる「りんご風呂」

山梨県・石和温泉

華やぎの章 慶山

四季に癒やされる露天湯

山梨県の豊かな自然の恵みをオリジナル料理で提供する、笛吹市石和温泉郷の華やぎの章慶山（千須和昌和社長）。もてなしの心から毎晩太鼓ショーを行うなど、宿泊客を楽しませる接客にも定評がある。

豊富な湯量を誇る自家源泉掛け流しの温泉も自慢の一つ。無色透明で柔らかなアルカリ性単純温泉は神経痛や筋肉痛などに効果があり、肌がツルツルになる美肌の湯。

四季の彩りを感じながら湯浴みを楽しめる自噴温泉のひのき大露天風呂はひのきの香りが心身ともに癒やしてくれる。湯音を楽しめる岩大露天風呂の「六花仙」や大浴場の「花桐」「花野」、ドライサウナ、ミストサウナとも男女入れ替え制となっているため、宿泊客は全ての風呂を楽しむことができる。

また、全20室ある露天風呂付き客室「昌客殿」では、プライベートな空間で自家源泉掛け流しの温泉が楽しめる。

湯上がりには東洋式整体やエステサロンもおすすめしたい。

▽山梨県笛吹市石和町市部822。☎055（262）2161。https://keizan.com/

岩大露天風呂　六花仙

和歌山県・南紀勝浦温泉

ホテル浦島

自慢の「大洞窟風呂」

三方が海に面した岬に建つ和歌山県南紀勝浦温泉のホテル浦島（成田安弘社長）は、本館、山上館、日昇館、なぎさ館と いう四つの建物に五つの大浴場がある。館内にいろいろ湯巡りが楽しめるが、1日の滞在ではとても回り切れないほどだ。

特に外せないのが大洞窟風呂「忘帰洞」。天然の洞窟の中に温泉が湧出し、熱い湯だまりとなったもので、古くから沐浴場として人々に利用されてきた。大正時代に旅館営業が始まってから、この地を訪れた紀州徳川家15代当主の徳川頼倫公が「帰るのを忘れさせるほど心地良い」と言い、この名が付いたという。海が間近に迫る絶景も自慢だ。

館内にはもう一つの天然洞窟風呂「玄武洞」もあり、こちらも体験したい。

ほかにも館内には「滝の湯」「ハマユウの湯」「磯の湯」と、個性的な湯どころがそろう。

▽和歌山県東牟婁郡那智勝浦町勝浦1165の2。☎0735（52）1011。http://www.hotelurashima.co.jp/

忘帰洞